



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 ワタミ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7522 URL <https://www.watami.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼グループCEO (氏名) 渡邊 美樹

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長 (氏名) 桂木 宏昌

TEL 03-5737-2703

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	28,627	△36.8	△5,513	—	△4,778	—	△7,155	—
2020年3月期第2四半期	45,357	△2.5	△292	—	△203	—	△563	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △7,250百万円 (-%) 2020年3月期第2四半期 △719百万円 (-%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△181.50	—
2020年3月期第2四半期	△14.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	47,382	7,276	14.8	177.88
2020年3月期	41,763	14,481	34.1	361.70

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 7,031百万円 2020年3月期 14,244百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想につきましては、開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	41,686,780株	2020年3月期	41,686,780株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	2,158,534株	2020年3月期	2,303,912株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	39,424,775株	2020年3月期2Q	39,271,936株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(追加情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、2020年4月に新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴う緊急事態宣言が発令され、経済活動が大きく抑制された結果、個人消費や企業収益が急速に悪化するなど、極めて厳しい状況で推移いたしました。また国外におきましても、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴う景気の減速懸念により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループはこのような環境下においても、「地球上で一番たくさんの方のありがとうを集めるグループになろう」というグループスローガンのもと、各事業分野においてお客様のありがとうを集める活動を展開してまいりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①国内外食事業

国内外食事業におきましては、54店舗の新規出店と91店舗の撤退を行い、当四半期連結会計期間末の店舗数は454店舗となりました。前期より発生しております新型コロナウイルス感染症の影響により、既存店売上高前年比は28.5%、既存店客数前年比は29.3%となっております。

その結果、国内外食事業における売上高は7,497百万円（前年同期比32.1%）、セグメント損失は5,343百万円（前年同期は32百万円の損失）となりました。

②宅食事業

宅食事業におきましては、当四半期連結会計期間末の営業拠点数は520ヶ所となりました。調理済み商品の累計お届け数は30,896千食（前年同期比104.9%）となっております。調理済み商品のお届け数が前年を上回ったため、売上高は17,754百万円（前年同期比103.8%）、セグメント利益は1,317百万円（前年同期比142.9%）となりました。

③海外外食事業

海外外食事業におきましては、3店舗の新規出店と8店舗の撤退を行い、当四半期連結会計期間末の店舗数は48店舗となりました。客数前年比は58.3%となっております。新型コロナウイルス感染症の影響により、減収減益となっております。

その結果、海外外食事業における売上高は2,048百万円（前年同期比59.0%）、セグメント損失は483百万円（前年同期は108百万円の損失）となりました。

④環境事業

環境事業におきましては、電力小売事業を中心に展開しております。新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、電源調達構成の見直し等により減収ながらも増益となっております。

その結果、売上高は1,058百万円（前年同期比88.1%）、セグメント利益は117百万円（前年同期比174.6%）となりました。

⑤農業

農業におきましては、有機農産物の生産、酪農畜産及び乳加工品製造を行っております。売上高は240百万円（前年同期比112.0%）、セグメント損失は125百万円（前年同期は117百万円の損失）となりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの成果は、宅食事業における増収が進む一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外事業及び海外外食事業における減収減益などがあったことから、売上高は28,627百万円（前年同期比63.1%）となり、営業損失は5,513百万円（前年同期は292百万円の損失）、経常損失は4,778百万円（前年同期は203百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は7,155百万円（前年同期は563百万円の損失）となりました。

なお、国内外食事業においては、上記の通り赤字店舗を中心とした91店舗の撤退を行うとともに、既存店売上高前年比も第1四半期会計期間の15.1%から当第2四半期会計期間は44.5%、2020年10月は65.0%と回復基調にあり、セグメント損失も第1四半期会計期間の3,311百万円（店舗臨時休業による損失729百万円を除く）から当第2四半期会計期間は2,032百万円に改善しております。既存店売上高の回復に加えて、店舗撤退による損失の縮小、テイクアウト・デリバリー業態の展開及び居酒屋業態店舗から焼肉業態店舗への転換等の施策により、当連結会計年度における下期連結業績は上期連結業績から改善することを見込んでおります。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）比5,618百万円増加の47,382百万円となりました。流動資産は、借入金の借入による現金預金の増加等により前期末比8,014百万円増加の29,555百万円となりました。固定資産は、前期末比2,396百万円減少の17,827百万円となりました。固定資産のうち有形固定資産は、国内の外食店舗設備等の減価償却費等により前期末比1,594百万円減少の8,691百万円となりました。無形固定資産は、ソフトウェアの償却等により前期末比10百万円減少の1,310百万円となりました。投資その他の資産は、差入保証金の減少等により前期末比791百万円減少の7,825百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債の合計は、前期末比12,823百万円増加の40,105百万円となりました。流動負債は、借入金の借入等の増加により前期末比3,411百万円増加の19,800百万円、固定負債は、長期借入金の増加等により前期末比9,411百万円増加の20,305百万円となりました。このうち有利子負債（短期借入金、長期借入金、社債及びリース債務の合計額）は、前期末比12,527百万円増加の27,183百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産の部は、利益剰余金の減少等により前期末比7,204百万円減少の7,276百万円となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,880	24,103
売掛金	2,740	2,100
商品及び製品	349	267
仕掛品	169	102
原材料及び貯蔵品	563	455
その他	1,868	2,541
貸倒引当金	△30	△16
流動資産合計	21,540	29,555
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,350	5,436
機械装置及び運搬具	812	745
土地	548	398
リース資産	1,693	1,503
建設仮勘定	351	150
その他	530	457
有形固定資産合計	10,286	8,691
無形固定資産	1,320	1,310
投資その他の資産		
投資有価証券	201	145
差入保証金	7,184	6,924
投資固定資産	17	15
その他	1,334	857
貸倒引当金	△121	△117
投資その他の資産合計	8,617	7,825
固定資産合計	20,223	17,827
資産合計	41,763	47,382

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,752	2,195
短期借入金	6,953	9,955
リース債務	837	878
1年内償還予定の社債	100	100
未払金	2,234	3,030
未払法人税等	294	599
未払費用	2,301	1,899
賞与引当金	295	232
販売促進引当金	87	74
その他	530	834
流動負債合計	16,388	19,800
固定負債		
長期借入金	4,560	14,221
リース債務	1,854	1,728
社債	350	300
資産除去債務	2,947	2,637
その他	1,181	1,418
固定負債合計	10,894	20,305
負債合計	27,282	40,105
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,410	4,410
資本剰余金	5,002	5,002
利益剰余金	8,326	969
自己株式	△3,668	△3,436
株主資本合計	14,071	6,946
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	5
為替換算調整勘定	169	79
その他の包括利益累計額合計	173	85
新株予約権	98	96
非支配株主持分	138	148
純資産合計	14,481	7,276
負債純資産合計	41,763	47,382

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	45,357	28,627
売上原価	18,817	13,762
売上総利益	26,539	14,864
販売費及び一般管理費	26,832	20,378
営業損失(△)	△292	△5,513
営業外収益		
受取利息	37	49
設備賃貸収入	133	125
協賛金収入	98	59
助成金収入	6	654
雑収入	160	319
営業外収益合計	435	1,209
営業外費用		
支払利息	88	131
設備賃貸費用	129	140
持分法による投資損失	13	4
支払補償費	80	-
為替差損	8	142
雑損失	25	56
営業外費用合計	346	474
経常損失(△)	△203	△4,778
特別損失		
固定資産除却損	47	178
減損損失	29	1,150
店舗臨時休業による損失	-	729
特別損失合計	77	2,058
税金等調整前四半期純損失(△)	△280	△6,837
法人税、住民税及び事業税	196	211
法人税等調整額	98	113
法人税等合計	295	324
四半期純損失(△)	△575	△7,162
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△12	△6
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△563	△7,155

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△575	△7,162
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	1
為替換算調整勘定	△145	△86
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△3
その他の包括利益合計	△143	△88
四半期包括利益	△719	△7,250
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△707	△7,243
非支配株主に係る四半期包括利益	△12	△6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△280	△6,837
減価償却費	1,360	1,221
減損損失	29	1,150
支払補償費	80	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	△106	△61
販売促進引当金の増減額(△は減少)	△5	△12
受取利息及び受取配当金	△37	△49
支払利息	88	131
固定資産除却損	47	178
差入保証金償却額	15	26
預り金の増減額(△は減少)	△33	16
売上債権の増減額(△は増加)	174	637
たな卸資産の増減額(△は増加)	△14	251
立替金の増減額(△は増加)	76	△61
未収入金の増減額(△は増加)	77	71
仕入債務の増減額(△は減少)	△367	△552
未払金の増減額(△は減少)	99	956
未払費用の増減額(△は減少)	△297	△396
未払消費税等の増減額(△は減少)	△155	△175
店舗臨時休業による損失	-	729
その他	59	△155
小計	811	△2,933
利息及び配当金の受取額	7	46
補償費の支払額	△80	-
店舗臨時休業に伴う支払	-	△615
利息の支払額	△81	△129
法人税等の支払額	△375	△27
法人税等の還付額	5	72
営業活動によるキャッシュ・フロー	287	△3,585
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,589	△719
有形固定資産の売却による収入	19	252
無形固定資産の取得による支出	△246	△168
資産除去債務の履行による支出	△106	△355
定期預金の預入による支出	△4,869	△5,741
定期預金の払戻による収入	4,850	2,825
投資有価証券の取得による支出	△79	△1
差入保証金の差入による支出	△203	△63
差入保証金の回収による収入	42	197
貸付けによる支出	△4	△0
貸付金の回収による収入	24	4
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△2
その他	△34	589
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,196	△3,182

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	10,500
短期借入金の返済による支出	△300	△7,500
長期借入れによる収入	2,500	11,031
長期借入金の返済による支出	△726	△1,371
社債の発行による収入	500	-
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	356	75
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△479	△483
社債の償還による支出	-	△50
配当金の支払額	△291	△98
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,558	12,103
現金及び現金同等物に係る換算差額	△38	△15
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△388	5,319
現金及び現金同等物の期首残高	9,946	10,922
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	-	69
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,558	16,311

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内 外食	宅食	海外 外食	環境	農業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	23,364	17,105	3,470	1,201	214	45,357	-	45,357	-	45,357
セグメント間の内部 売上高又は振替高	32	-	-	327	176	535	-	535	△535	-
計	23,396	17,105	3,470	1,529	391	45,893	-	45,893	△535	45,357
セグメント利益又は 損失(△)	△32	921	△108	67	△117	730	-	730	△1,023	△292

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	730
その他	-
全社費用(注)	△1,023
その他の調整額	-
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△292

(注) 全社費用は、主にグループ全体の管理業務に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内外食」セグメントにおいて、撤退予定等の店舗資産に係る減損損失29百万円を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては29百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

記載すべき事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

記載すべき事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内 外食	宅食	海外 外食	環境	農業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	7,497	17,754	2,048	1,058	240	28,599	28	28,627	-	28,627
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	-	-	231	94	333	△4	328	△328	-
計	7,504	17,754	2,048	1,289	335	28,933	23	28,956	△328	28,627
セグメント利益又は 損失(△)	△5,343	1,317	△483	117	△125	△4,517	△22	△4,540	△973	△5,513

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、農業テーマパーク事業及び労働者派遣事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△4,517
その他	△22
全社費用(注)	△973
その他の調整額	-
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△5,513

(注) 全社費用は、主にグループ全体の管理業務に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内外食」セグメントにおいて、撤退予定等の店舗資産等に係る減損損失1,134百万円、「海外外食事業」セグメントにおいて、撤退予定等の店舗資産に係る減損損失16百万円を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては1,150百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

記載すべき事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

記載すべき事項はありません。

(追加情報)

※店舗臨時休業による損失

新型コロナウイルス感染症に対する政府、自治体からの各種要請等を踏まえ、店舗の臨時休業を行いました。当該店舗の臨時休業期間中に発生した固定費(地代家賃・リース料・減価償却等)を店舗臨時休業による損失として、特別損失に計上しております。